

## 2013年産松の実市況



### 2012年産と同様に2年連続の大減産

2013年産松の実、大減産であった2012年産と同様に主要産地の黒龍江省、吉林省での収量が大変少なく2年連続の大減産となりました。

減産の原因として野生種が収穫されていた自然林が年々減少している状況と、収穫可能数量が少ない事から、収穫をしても割に合わないと考え山に収穫に行かない農家が増えている状況が挙げられます。

今期の収穫量は、剥実で5,000メトリックトン程度と言われており、昨年に続く大減産に伴い、中国市場に多く供給される大粒原料(100g当たり600粒以下)は特に入手しづらい状況となっています。

なお、現時点で2014年産は通常作と言われていますが、実際の収穫量が見えてくるまで価格は高値で推移していくと考えられます。

